



報道機関 各位

公立大学法人大阪市立大学

第2回 国際ラウンドテーブル会議「都市の世紀を拓く」 国際シンポジウム「災害後社会とアートによる地域マネジメント」

大阪市立大学都市研究プラザは、平成23年12月1日（木）、2日（金）に大阪国際交流センターにて第2回国際ラウンドテーブル会議「都市の世紀を拓く」を開催いたします。本会議は都市研究プラザと財団法人大阪国際交流センターが協力し、都市が抱える様々な困難の解決策を探るため、都市の進むべき方向性について議論を行う国際シンポジウムでもあります。

第2回となる今回は、「災害後社会とアートによる地域マネジメント」をテーマとして、これまで都市研究プラザが研究対象としていた「アートによる復興」の実践について、今年起こった東日本大震災を含め「災害」の衝撃から地域社会が再生するためにアートがどのような役割を果たせるのかを考えます。

12月1日（木）のエキシビションでは全国的にも重要な伝統芸能であり東日本大震災で上演の場を失った陸中（岩手県）の鶺鴒神楽（うのとりかぐら）を招へいします。それを受け、12月2日（金）に盛岡大学 橋本裕之教授による「地域社会と芸能—陸中の神楽—」と題した基調講演を行います。ぜひご参加ください。

記

1. 日時 平成23年12月1日（木）10時30分 ～ 2日（金）17時30分まで
2. 場所 大阪国際交流センター（大阪市天王寺区上本町8-2-6）

3. プログラム

■1日（木）

- セッション1 10:30～12:30 インドネシアや東日本などの国内外の事例報告
- セッション2 13:30～15:30 市民ワークショップ
「大阪発アートによる心のケアとコミュニティの再生」
- セッション3 16:00～18:00 専門家会議「アカデミアと社会との対話」
- セッション4 18:00～20:00 エキシビション「鶺鴒神楽（うのとりかぐら）」公演
解説：橋本裕之（盛岡大学）

■2日（金）

- セッション5 10:30～12:30 研究報告
- セッション6 14:00～15:00 基調講演「地域社会と芸能—陸中の神楽—」
盛岡大学 橋本裕之教授
- セッション7 15:10～17:30 シンポジウム
『災害後社会とアートによる地域マネジメント』の発信へ向けて

4. 対象 一般市民、研究者、行政関係者、NPO 関係者
(セッション1、2、6、7は同時通訳があります)
5. 定員 各セッション300名(申込多数の場合は先着順)
6. 費用 無料
7. 申込方法

【募集締切】11月21日(月)必着

<ハガキ・FAX>

- ①代表者氏名(ふりがな) ②参加人数 ③住所(会社名等を含む) ④電話番号
⑤参加セッション番号(1~7)を記載の上 下記申込先まで
<ホームページ>

<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/RT2/> より申込

※セッション4 「鶴鳥神楽」のみ参加の場合は申込不要です。

8. 申込・問い合わせ先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学 都市研究プラザ
電話：06-6605-2071 FAX：06-6605-2069

【主催】大阪市立大学都市研究プラザ 【共催】財団法人大阪国際交流センター

以上

【お問い合わせ先】

大阪市立大学 都市研究プラザ 担当：安喜・西田

TEL：06-6605-2071 FAX：06-6605-2069 E-mail：office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

■鵜鳥神楽（うのとりにかぐら）とは

鵜鳥神楽は、全国的にも重要な伝統芸能であり、正月から2ヶ月以上かけて沿岸各地を巡業し舞を披露する。平成7年には宮古市の黒森神楽とともに「陸中沿岸地方の廻り神楽」として、「記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財」に選択された。

陸中沿岸部（岩手県）は神楽、虎舞、鹿踊りなどの民俗芸能が極めて盛んであり、それらが地域社会の一体化（アイデンティティ）に大きな役割を果たしている。これら民俗芸能は、地域社会の住民によるローカル・独自の組織・イベントと、才能に恵まれた人たちにより構成される“ドリーム・チーム”の興業とが相互に絡み合って生活に根を張っている。神楽舞の“ドリーム・チーム”の代表の一つが鵜鳥神楽であり、陸中沿岸を百キロメートル以上にわたって巡行するのを特徴としている。

■講演者略歴

橋本 裕之（はしもと ひろゆき） 盛岡大学 文学部 日本文学科 教授

【専門分野】 演劇学・民俗学

【略歴】

1985年3月 早稲田大学第一文学部演劇専修卒業

1987年3月 早稲田大学大学院文学研究科修士課程芸術学（演劇）専攻修了

1987年12月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程芸術学（演劇）専攻退学

1995年6月 博士（文学）（早稲田大学）取得

1988年1月 国立歴史民俗博物館民俗研究部社会伝承研究部門助手（～1997年3月）

1997年4月 国立歴史民俗博物館民俗研究部社会伝承研究部門助教授（～1998年3月）

1998年4月 千葉大学文学部日本文化学科助教授（～2005年3月）

2005年4月 千葉大学文学部日本文化学科教授（～2008年3月）

2008年4月 盛岡大学文学部日本文学科教授（～現在）

上記の間

1994年9月 プリンストン大学東洋学部客員研究員（～1995年8月）

1995年9月 プリンストン大学東洋学部客員講師（～1996年1月）

国際シンポジウム

災害後社会と アートによる 地域マネジメント

アジアでは、地震、津波、噴火から、紛争、政治的テロに至るまで「災害」が頻発している。その衝撃からの再生、復興に関する知恵と技術を、触媒としてのアートに焦点をあてながら議論する。なぜアートなのか？そのマネジメントは？地域社会の知を私たちはどのように共有できるのだろうか？

12月1日(木)

- ① 10:30-12:30 国内外の事例報告 [同時通訳]
タイ、インドネシア、東日本他
- ② 13:30-15:30 市民ワークショップ [同時通訳]
「大阪発アートによる心のケアとコミュニティの再生」
コーディネーター：中川 眞(大阪市立大学)
- ③ 16:00-18:00 専門家会議
「アカデミアと社会との対話」
司会：山口 悦子(大阪市立大学)
- ④ 18:00-20:00 エキシビション
「鶺鴒神楽」公演
解説：橋本 裕之(盛岡大学)

12月2日(金)

- ⑤ 10:30-12:30 研究報告
- ⑥ 14:00-15:00 基調講演 [同時通訳]
「地域社会と芸能一陸中の神楽」
橋本 裕之(盛岡大学：日本民俗文化論)
- ⑦ 15:10-17:30 シンポジウム [同時通訳]
「『災害後社会とアートによる地域マネジメント』
の発信へ向けて」
司会：阿部 昌樹(大阪市立大学)

※プログラムの詳細は<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/RT2/>にて、ご覧いただけます。

主催 大阪市立大学都市研究プラザ (財)大阪国際交流センター

参加費 無料

申込方法 はがき、FAXまたはWebで
1.代表者氏名(ふりがな)
2.参加人数
3.住所(会社名等を含む)
4.電話番号
5.参加セッション番号(左記の①-⑦の番号)
を明記して、11月21日までに申し
込み下さい。
※④鶺鴒神楽公演のみ参加の場合は申し込み不要です。

申込先 大阪市立大学都市研究プラザ
〒558-8585
大阪市住吉区杉本 3-3-138
TEL 06-6605-2071
FAX 06-6605-2069
<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/>

会場 大阪国際交流センター
大阪市天王寺区上本町 8-2-6
TEL 06-6773-8182



鵜鳥神楽

うのとり

かぐ

ら

演目— 清祓、山の神、恵比寿舞
解説— 橋本裕之（盛岡大学教授）

鵜鳥神楽は陸中沿岸(岩手)を代表する神楽であり、冬期に百キロ以上の距離に及ぶ巡行をおこなうことで知られる。震災で上演の場を失った神楽衆が、再生の第一歩を大阪に印す。

平成23年12月1日(木)
午後6時～8時
大阪国際交流センター
大阪市天王寺区上本町 8-2-6
電話 06-6773-8182

入場無料